



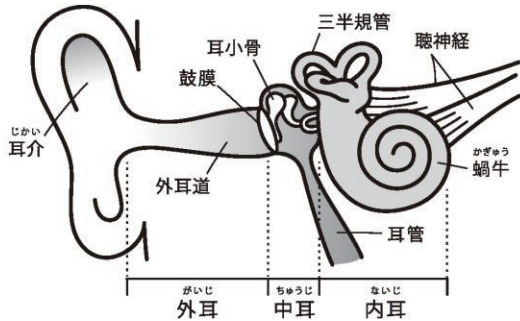
難聴とは、音の伝わる経路において何らかの障害などを受けることで、音が聞こえにくい、言葉が聞き取りにくいことをいいます。音の伝わる経路は、耳から入った音が空気の振動として、「耳介(じかい)」から「外耳道(がいじどう)」を通り、「鼓膜」を振動させます。鼓膜の奥にある「耳小骨」という三つの骨を介して「内耳(ないじ)」を通り、「聴神経」から脳に伝えられます。

難聴は原因別に「三つ」に分類されます。

①「伝音難聴」は音を伝える部分である外耳・中耳に異常がある場合で、音がうまく伝わらない難聴です。耳の感染症、耳垢や異物による外耳道閉塞などが原因です。難聴の程度が軽く、低音部から高音部まで比較的均一に聴力が低下します。原因の治療や手術により回復します。

②「感音難聴」は音を感じる部分である内耳・聴神経・脳に異常がある場合で、音がうまく感じられない難聴です。加齢、薬物、メニエール病などが原因です。突発的に悪化した場合は改善する可能性があります。時間が経過するほど治りにくくなります。補聴器の使用も考慮する必要があります。

③これら両方が原因である「混合性難聴」があります。



重症度	聞こえる範囲	日常での基準
正常	~30dB	小さな声の会話でも聞こえる。
軽度	30~50dB	小さな声の会話が聞こえない。普通の声の会話が聞こえる。
中等度	50~70dB	普通の声の会話が聞こえない。大声の会話が聞こえる。
高度	70~90dB	大声の会話が聞こえない。耳元での大声が聞こえる。
重度	90~120dB	耳元での大声が聞こえない。

※40~45dB程度から補聴器が必要。 参考：日常会話=約60dB 電車内=約80dB

dB (デシベル)：音の大きさの単位

中耳炎



耳は外側から「外耳」「中耳」「内耳」に分かれています。中耳炎とは「中耳」に炎症が発生することで起こります。中耳炎は次のように分類されます。

- 急性中耳炎・慢性中耳炎：鼻やのどの細菌やウイルスが「耳管」を通じて中耳に感染します。急性中耳炎が三カ月以上続く場合を慢性中耳炎と呼びます。
- 滲出性(しんじゅつせい)中耳炎：「耳管」の機能が低下し、鼓膜の奥に液体がたまり、中耳炎が「鼓膜」が中耳に

侵入し袋状になります(真珠腫)。真珠腫が骨を壊し、髄膜炎などの重篤な症状を引き起こすことがあります。

子どもに起こりやすい「急性中耳炎」と「滲出性中耳炎」は症状が似ています。どちらとも聞こえが悪くなったり、耳が詰まったりするよう症状があります。急性中耳炎の場合は発熱や耳たれが起こり、痛みを伴うことが多いです。一方、「滲出性中耳炎」は自覚症状がほとんどなく、特に小さな子どもでは気が付きにくくなっています。

中耳炎は適切な治療を受ければ、完治できる病気です。治療では、薬物治療や手術を行う場合もあり

ます。薬物治療では抗菌薬が頻繁に使われます。抗菌薬は途中でやめてしまうと、耐性菌を生むことにつながってしまいます。耐性菌には使える抗菌薬が限られるため、治療が難しくなります。自己判断で中止せず、痛みがなくなっても医師の指示を守って服用を続けることが大切です。小さな子どもは症状をうまく伝えられないため、発見が遅れてしまう場合があります。呼びかけても返事がなかったり、いつもよりテレビの音が大きかったりすることなどは中耳炎の症状によるものかもしれません。日常生活の変化から、周りの大人が察してあげるよう心がけましょう。

めまいは、体のバランスが崩れることで起こります。めまいの原因は「脳の異常からくるめまい」「耳からくるめまい」「血圧の変動によるめまい」「肩こりや首の痛みからくるめまい」など様々です。その中で耳からくるめまいの内、ここではメニエール病について説明します。

耳からくるめまい

メニエール病



メニエール病とは、突然強い回転性のめまいが起こり、それに伴う耳鳴り・難聴の三つを主徴とする発作が繰り返し起こる「内耳」の病気です。「内耳」はリンパ液という液体で満たされています。「内耳」に「何らかの異常が起こるとこの内リンパ液が増え、「内耳」にある「蝸牛」や「三半規管」を圧迫してしまいます。「蝸牛」が圧迫されると耳鳴りや難聴が起こり、「三半規管」が圧迫されるとめまいが起こります。めまいが起きた時は、次の事を心がけましょう。

○明るすぎない静かな所で横になり、楽な姿勢を取って安静を保

ちましょう。

○不安な気持ちを抱くとめまいが悪化することがあるので、まずは気持ちを落ち着かせましょう。

○症状が落ち着いてきたら、早めに耳鼻咽喉科や神経科、めまい外来などの専門医を受診しましょう。めまいを起こりにくくする、あるいは悪化させないために日常生活でできることを行ってみましょう。

○規則正しく、バランスの良い食事をとりましょう。

○十分な睡眠をとりましょう。

○お酒の飲み過ぎは生活リズムを乱す恐れがあり、脳の機能を低下させ、めまいを悪化させる可能性があるため控えるようにしましょう。

○たばこに含まれるニコチンは血管を収縮させ、血液の循環を悪くするので、めまいが起こりやすくなる可能性があります。たばこを控えるために、できれば禁煙しましょう。

○ストレスの原因を減らすよう工夫し、適度な運動や趣味を楽しんで

体質改善 漢方相談 ダイエット 処方せん 美容エステ

あさひ薬局

開成本店

どんなことでもお気軽にお電話ください。専門のスタッフが丁寧にお応えします!

☎0120-44-0346

佐賀県佐賀市開成3-5-42

TEL:0952-33-0346

FAX:0952-33-0341

営業時間:AM9:00~PM7:00

定休日:日曜・祝祭日

ホームページはこちら

あさひ薬局開成店 検索